

平成23年2月
24期生卒団記念号

名古屋ウエスタズ事務局
2011年2月20日発行
Vol. 121



名古屋ウエスタズのモットー

礼儀正しくする
一生懸命やる
基本通りやる
約束を守る
思いやりをもってやる

24期生 Aチーム
第5回ムラテ旗しらさぎ卒団少年野球大会

✿ 優勝 ✿ おめでとう

決勝戦 平成23年2月6日 対戦相手 ダイヤモンドスターズ



はじめに

24期生の選手、卒団おめでとうございます。
卒団を前に24期生はウエスタンズに素晴らしい歴史を刻んでくれました。

第5回ムラテ旗しらすぎ卒団少年野球大会で見事“優勝”の2文字を掲げてくれたのです。選手たちの勝ちたい強い気持ちと小川原監督をはじめ佐野コーチや父コーチ、応援する母たちの気持ちが一体となつての偉業だと思います。色々な出来事や故障する選手が度重なる中で“よくぞ”との思いがこみ上げるのは24期生を知る者皆同じだと思います。在団生も24期生に負けずこれからウエスタンズの歴史を築いていけたらと思います。24期生の選手及び小川原監督以下コーチ保護者の皆様にはウエスタンズに携わって頂いた事への感謝の気持ちで一杯です。選手たちはウエスタンズを旅立ち、これから新しい世界に飛び込んでよりいっそう羽ばたいてほしいです。

臼井代表より

第24期卒団生の皆さんおめでとうございます。
名古屋ウエスタンズに入団以来毎週土、日と祝日、練習に一生懸命がんばりましたね。

その結果 **✪ 優勝 ✪** という大きなごほうびを頂く事ができました。優勝は簡単にはできません。だから価値が有るのです。小川原監督以下ウエスタンズ関係者は最高の喜びと感動を感じる事ができました。

まだまだこの先、君たちには色々な楽しい事、又つらい事に一杯合うかも知れませんが毎日の中でどんな大きな(夢)でもいいから持って下さい。君たちには何でもできる可能性が有ります。自分を信じて継続し“他の人にはこれだけは絶対負けない”そんな気持ちの強い人になってほしいと思っています。

最後になりましたが小川原監督Aチームの父兄の皆様本当にありがとうございました。

藤井総監督より

『優勝おめでとう・卒団おめでとう』

優勝おめでとう。

最後の最後にやってくれました。本当に素晴らしい準決勝そして決勝戦でした。サッカーのアジア大会の日本の活躍にも感動しましたが、それ以上に感動しました。涙が出ました。皆がそれぞれ立派になり頑張り、キッチリした野球をやりました。これが名古屋ウエスタンズの目指す野球だと思います。選手の皆さん有難う。小川原監督、コーチの皆さんそしてご父兄も皆さん本当に有難う。素晴らしいチームになりました。優勝すると言うことは、決して簡単なことではありません。大変難しいことです。本当に良くやってくれました、おめでとう。小川原監督を中心にコーチそして選手がよくまとまり、素晴らしいチームになりました。まさにこの野球が、名古屋ウエスタンズが、目指している少年野球だと思います。皆さんの努力に敬意を表します。

第24期生の皆さん、卒団おめでとう。

皆さんは、新しいステップを踏み出します。おめでとうという言葉と、笑顔で皆さんを送りたいと思います。野球の基本も覚えました。我慢する事も、努力する事も、競争する事も、協力する事も覚えました。そして、たくさんの友達ができました。この友達、友情という絆を、どうかいつまでも大切にして下さい。皆が、名古屋ウエスタンズの卒団生として、いつまでも友情を交わしあっていく事を心から願っています。皆は、これからそれぞれの道に進む事になります。皆には、大きな可能性が有ります。自身を持って可能性も限界に、挑戦して下さい。皆にとってはこの優勝はきっと大きな糧になると思います。大丈夫です、皆も何かを『持って』います。信じて挑戦して下さい。

ご父兄の皆様おめでとうございます。大変有難うございました。入団した当時は、あんなに小さくひ弱だった子供たちが、こんなに伸びやかに、健やかに、すべてにおいて二歩も三歩も前進し、立派に成長しました。頼もしく思います。これから子供たちは新しいスタートを切ります。健康で、明るく、素直に育ち、そして大きく成長することを心からお願いいたしております。

総監督 藤井義弘

小川原監督より贈る言葉

卒団おめでとう！

やったねっ！ 間に合ったねっ！ 最後の最後に『優勝！』 みんなかっこよかったよ！！
今まで、いっぱい、いっぱい失敗してきた君達。そのいっばいの失敗の積み重ねが『夢！』優勝に結び付いたと思う。これから先も『夢！』に向かっていっぱい失敗してください！！

10 川島 立

選手宣誓の失敗、ナゴヤドームでの上手くいった選手宣誓、ホームランを打ったときの笑顔、凡打のときの泣き顔、牽制アウト、投げ方が分からなくなっちゃた時の困った顔、自分だけでも大変なのに、責任感の強い君は、いっぱいいろんなものを抱えて頑張ってきたね。その後ろには きっとたくさんの努力があったと思う。そんな姿をチームのみんなが見てついてきた。その結果が『優勝！』 君がキャプテンでよかった。

1 伊藤 皓登

『熱投の211球！』決勝戦の試合前、滅茶苦茶に迷った。準決勝戦ですでに93球も投げている君を決勝戦にも使っていないのかと……。で、みんなに聞いたら「皓登で負けたら仕方ない！他のやつで負けるのはいやだ！」このチームの絶対的なエースだった。野球大好きな君は、その力をほんの少しだけ見せて卒団して行く。これからの活躍を期待しています。

2 小木曾 聖矢

『野球小僧！』そんな名称がぴったりの君 フライを打ち上げても、盗塁失敗しても、暴投しても、本当に楽しそうに野球をしている、いつも。その君の笑顔と元気がこのチームの力だった。だから、しらさぎの決勝戦は君のタイムリーヒットのガッツポーズでまだ1回なのに勝ちを確信した。君にはそんな不思議な力がある。

3 岡野 友哉

集合整列した時に僕を目を一番見て必死に聞いてくれていたのが君だった。投手に、内野に、外野にといろいろなところを守ってくれて本当に助かった。サインを見逃し泣きそうな顔をしてベンチに戻ってくる顔、ヒットを打っても遠慮がちに笑う顔、そして、しらさぎ決勝戦でのバントヒットの1塁での笑顔、忘れません。すべてを真面目に取り組む君のこれからを楽しみにしています。

4 氷室 陽介

僕目を見るだけで泣いてしまっていた君が、卒団のこの日までここにいるとは正直思わなかった。(ごめん!) 合宿の100本ノックでの泣く一歩手前で必死に涙を堪え、ボールに向かっていった姿、しらさぎの決勝戦で、コーチスボックスから必死に指示をする声、今まで聞いたことの無いでかい声だった。そのすべてを忘れない！そして今ではもう君の目に涙は無い！強くなったな！これからも、がんばれ！！

5 安田 光介

その小さな身体で キャッチャー、ピッチャー、サード、ショート、時には外野とこのチームに人が多くて困っている時にフル回転！本当に助かった。その結果がしらさぎでの優勝だと思う。野球が大好きでいつも一生懸命だった君。でもそれ以上に一生懸命だったのがお父さんと、お母さん。その両親に感謝してこれからも大好きな野球続けてください！！

6 那須 雄斗

君のケガが治り、君がショートの守備についたら急に守備が落ち着いた。君が2番の打順に収まったとき打線になった。君をはじめて見たのは3年生の時だったと思う。センス抜群、この子に闘争心が出来たら凄いぞ！これが第1印象。間違ってたなかった。器用な君はピッチャー、内野、外野とどこでもこなしてくれて貴重な存在だった。欲を云えば、これからの君もっと闘争心を表に出してほしい！そうすればもっとももっと大きくなる。期待しています！！

7 市川 翔悟

ずーーと、ケガ人だったな！ Aチームスタートの頃には、外野を守って8番の打順。力強い君が8番にいたら強いだろうなど、思い描いて待ってたら、終わっちゃった。でも、そのケガにも腐らず毎週毎週河川に来て練習、その結果がしらさぎ決勝戦での代打ヒット！カッコよかったぞ！やっとなケガが治った所で、卒団。これからの君をもっと見てみたい！がんばれ！！

8 芝田 佳奈

お兄ちゃんの大が卒団して、佳奈が入ってきた時は正直びっくりした。それまで何にも興味を示して無かっただけに……。その君がAチームでは欠かせない戦力になり、ピッチャー、センターを守り、打順は3番・5番・6番と中心にすわり、ついには、しらさぎ決勝戦でタイムリーを打ち『MVP』！本当にがんばったね！女の子1人で大変だったと思うけど、この経験は絶対にこれか

ら役立つよ。

9 左川 孝輝

試合に出たり、出なかったりの君が、しらさぎの決勝戦に高熱があるのに、お父さんに涙を流して「試合に行きたい!」と云って、連れて来てもらったのを見て泣けてくる程うれしかった。「全員揃った!」と、誰かが言い、みんな笑顔の試合前の円陣! 勝った! 試合前にそう思った。熱があるのにコーチスボックスで、大きな声の指示! その姿を僕は一生忘れないだろう。ありがとう!!

11 澤田 廉平

しらさぎ決勝戦スタメン発表したあと、君は緊張してますと言った。「ベンチの君も緊張してる」これこそ『全員野球!!』試合が始まると、大きな声と大きなジェスチャーでランナーコーチ、嬉しかった。入ってきたばかりの頃は持病もあって長い練習についてこれなかった君が、メダルを掛けて喜んでる。そして、一緒に卒団できる! 絶対にここでの経験はいつかどこかで役立つと信じてます。

12 大澤 琉斗

おっとりした君に競争心・闘争心を付けるにはどうしたらいいかと考え、いろいろ試したけどだめだった。そんな時、ケガ人が多くて困った時 君にピッチャーをやってもらったら、何と完投してしまった。驚いた。それからは、そんなことを考えず、内野、外野といろいろやってもらった。まだまだ、未知数をいっぱい持った君のこれからが凄く楽しみです。

13 浅野 陽太

13人目、最後の入団の君は、線が細くてとても心配だった。が、いつの間にか逞しくなっていて、気が付いたらチームの2番手ピッチャーにまで成長してくれていた。けが人の多かった時期にもし君がいなかったらと思うとぞっとするものがある。いつもいつも緊張して野球をしている君の姿忘れません。これからの活躍を期待しています。

最後に

佐野ヘッドコーチ・那須コーチ・川島コーチ・岡野コーチ・氷室コーチ・安田コーチ・大澤コーチ・浅野コーチ・小木曾コーチ、お母さん方、伊神コーチ、本当にありがとうございました。わがままで、頑固な僕を支えて頂き、とても充実した日々を送ることができました。そして最後にご褒美の『優勝!』最高でした! この24期生!! ありがとう!!!

小川原 宏

佐野ヘッドコーチより贈る言葉

24期生の皆さん卒団おめでとうございます。僕が、この24期のコーチを引き受けたのは、監督がこのチームの子供達は、今はバラバラだけど、面白いチームになるから一緒にやらないかと言われ、このチームのコーチを引き受けました。

この3年間色々な事が有りましたが、何とか3年間続ける事が出来、とても嬉しく思います。

Cチーム、Bチームの時、強いと思っていましたが、どの大会でもベスト8止まりで、どのように指導したら上に行けるかを考えましたけど答えは見つからず・・・

でも最後の最後のしらさぎ卒団で **優勝** 出来とても嬉しかったです。

24期生の皆さんは、これから野球を続けられると思いますが、何処で野球をやっても、基本は同じです。どんなプレーでも一番大事な事は基本を守る事だと、僕は思います。ウエスタンズで教えて貰った事を忘れずに、これからの野球人生を楽しんで下さい。皆の事は、絶対忘れません。

父コーチ、お母さんの皆様、今まで本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

月刊ウエスタンズ編集局 那須コーチより

月刊ウエスタンズの編集を3年間させて頂き、ありがとうございました。CチームからAチームまで子供達と一緒に泣いたり、笑ったり、野球の楽しさ、一球の怖さ、厳しさを教えて貰った3年間でした。月刊ウエスタンズは試合結果は大切ですが、それよりも選手一人一人の成長を記録に残し試合に出た選手、出られなかった選手が月刊ウエスタンズを読んで「もう少し頑張ろう! 次はもっともっと頑張って試合で活躍しよう!!」など、選手達が成長して欲しいと言う思いが込められています。Cチームの皆、ウエスタンズのモットーを大切に一生懸命頑張ってください。最後に大好きな野球が出来るのはお父さん、お母さんの協力があるからです。必ずご両親に感謝して下さいね!

編集局長の奥西コーチ大変お世話になりました。これからはHPで試合結果を確認するのを楽しみにしております。貴重な体験をお手伝いさせて頂き本当にありがとうございました。

Aチーム 編集者 那須

❀卒団生よりウエスタングズの思い出❀

10 川島 立

チームにとって「優勝」は魅力あるもの。でも、僕は、名古屋ウエスタングズに入団して、より大切なことを知る体験ができた。

まず2回の選手宣誓。初めての宣誓では、頭が真っ白になり、チームの代表として、皆に恥ずかしい思いをさせたこと。でも、この苦い体験により再びめぐってきたナゴヤドームの宣誓では、思い切ってできたこと。

第二に、兄弟バッテリーで1勝できたこと。学校の行事でメンバーが揃わず、僕がピッチャーで、ほとんど勝ちをあきらめていた試合に、2歳年下のCチームの弟がキャッチャーに。大声を張り上げ、静まり返っていたチームのムードを沸き立たせてくれた小さな力が、誰も信じていなかった大きな1勝を得たこと。

第三に、強いと前評判のあるピッチャーから、監督のサイン通りに、思いっきり振ったバットが、ホームランを生んだこと。

そして、何とんでも、最後まであきらめず頑張った結果、この魅力ある「優勝」が、初めて僕たちのチームに輝いたことだ。

今、感謝の気持ちを込めて、また新たに一步を踏み出します。

1 伊藤皓登

僕は2年生の冬にウエスタングズに入団しました。野球のルールもわからず入団したけど、バット引きやファールのボールを取りに行ったり僕なりにできることを一生懸命やっていたのを覚えています。

4年生の頃の僕はストライクが入らず、ファールボールをよくだし、悔し泣きをし、監督、コーチに怒られたりもしました。ピッチャー1人で野球をするのではないこと、みんなが守ってくれると信じて投げられることを教えていただきました。

5年生の頃にはファールボールも少なくなり、泣くこともなくなりました。スポ少でのダイナマイツ戦では本当にいいピッチングができました。三振も多くとり、コントロールもよく、みんなも集中して試合に挑んでいました。サドンデスまで行き、結果は負けてしまったけど、僕はみんなを信じて投げることができました。

6年生では痛みを隠して、投げ続けてきた結果、剥離骨折の診断を受けましたがそれでも僕は野

球がやりたくて、ピッチャーから外してもらい痛みをこらえて試合にでていました。

Aチームになってからは1回戦がなかなか勝てず、目標のイチロー杯でも勝ちあがれなくて気づいたら残っている大会がしらさぎ卒団だけになっていてこの試合だけは勝ちたいと思うようになりました。

3回戦、4回戦、準々決勝と勝ち上がり夢にまで見た準決勝は本当に緊張しました。そして決勝戦、みんなは2連投となる僕に決勝戦を託してくれました。先制点は取られてしまったけど、すぐに取り返しみんなでつないだバッティング、必死で走ったランナー、エラーは少しあったけど、みんなで守り、目標だった優勝をすることができました。監督、コーチのおかげでここまで来ることができました。監督、佐野コーチに恩返しができて本当に良かったです。

監督、佐野コーチありがとうございました。父コーチの皆さん、試合への車だしや毎週グラウンドに来て頂きありがとうございました。

母の皆さん、お茶当番ありがとうございました。

2 小木曾 聖矢

僕は2年生の冬に入りました。最初はわからないことだらけで先輩達に教わりながらやっていました。プレーも先輩達を見ながら勉強していたし、ルールもランナーコーチなどで覚えました。初めはキャッチボールしかできなかったけど、毎週ウエスタングズに来てどんどん楽しくなり、どんどん上達していきました。3年生の秋には愛球会に出て、4年生を相手に五分五分の試合をしていたのを覚えています。

小川原監督が僕達の監督になり、初めは怖かったけど、すぐにコミュニケーションが取れるようになりました。佐野コーチはずっと怖かったです。でも僕にキャッチャーを教えてくれたのは佐野コーチでした。初めはキャッチャーをやりたくなかったけど、故障をして初めて大切なポジションだとわかったし、戻りたいと思うようになりました。それでもひじの状態が完全な状態には戻らなかったのも、痛みを隠して試合に出ていました。その結果6年生の夏には剥離骨折になり、野球に行くのが嫌になりました。練習をサボったり、試合の時には人数合わせでしか行っていませんでした。今思うと、チームの事を何も考えていなかったと反省しています。

Aチームになってからは試合に勝てず悔しい思いもしました。でもそれはチーム一丸となって

戦っていなかった結果です。僕は最後の大会のしらさぎ卒団に全部をかけようと思いました。手洗いうがい徹底し、健康管理にも気を付けました。自分の一番いいコンディションで挑みたかったし、後悔もしたくなかったからです。そして、試合では今までよりも声を出し、一球一球ボールに集中しました。

準決勝では失敗もあったけど、最後まで集中して試合に勝つことができました。夢にまで見た決勝戦に行けたことがうれしかったです。そして、目標にしていた優勝ができて僕は初めてうれし涙がでました。本当にいい経験ができたし、いいチームメイトと優勝できて嬉しかったです。

監督、佐野コーチにはすごく感謝しています。ありがとうございました。

父コーチの皆さん毎週グラウンドに来てくれてありがとうございました。

母の皆さんお茶当番ありがとうございました。ウエスタンズで学んだ事を中学になっても、活かしたいです。

3 岡野 友哉

僕がウエスタンズに入団したのは4年生の2月でした。最初は、友達がいないチームでやっていけるか心配でしたが、みんながやさしくしてくれたおかげですぐにチームの和に入ることができました。

Aチームになってからは、大会で優勝することを目標にして頑張ろうと思いました。ウエスタンズでの思い出は、瑞穂球場で試合をしたことです。しかも瑞穂球場でピッチャーをやらしてもらいました。負けてしまったけどいい経験になりました。あと合宿での100本ノックと外野の50本ノックはとていい経験になりました。100本ノックはきつかったけど最後の1本をとった時はうれしかったです。

一番の思い出はしらさぎ卒団です。他の大会はあっさり負けてしまったので、この大会にかけました。一、二回戦を順調に勝っていき、準決勝ではヒットを打つことができ、決勝までいくことができました。決勝の相手はダイヤモンドスターズでした。「優勝する」という強い気持ちで試合にのぞみました。先制点を取られましたが、すぐに点を取り返し3回までに9点を取ることができました。終盤、相手チームに点を取られましたが、最後まで落ち着いてチーム一丸となり、全員野球で戦い、優勝することができたのでうれしかったです。

最後に小川原監督、佐野ヘッドコーチ、コーチの皆さん、父・母達、練習を手伝ってくれた先輩達、今までありがとうございました。中学へ行ってもウエスタンズでの経験を活かし野球をかんばりたいです。

4 氷室 陽介

5年生の7月ごろ僕は聖矢君に誘われてウエスタンズに入団しました。最初のころは練習についていけずみんなは昼休みも元気よく遊んでいるのに僕だけブルーシートのうえで休んでいたのをよく覚えています。

ウエスタンズに入団して一番最初の難関は合宿でした。合宿では、普段からやる練習や普段やらない練習をしました。そのなかでも一番つらかった練習はやっぱり百本ノックでした。初めての百本ノックだったので100球で終わらせる勢いで、最初から本気でボールを取りに行ったら20球ほどで足が動かなくなりました。それでもボールに必死に食らいつきました。ボールを無我夢中にとっていたら30球20球10球とどんどん残りの数が減っていきラスト5球からのボールを取った瞬間は、今でもしっかりと覚えています。百本ノックの緊張や不安は、僕を強くしてくれました。合宿が終わると練習にもついていけるようになり試合にも出られるようになったので前よりももっと野球が楽しくなりました。試合に出られるようになったのはよかったけど大会ではいつも2回戦3回戦で負けていました。

Aチームになったらもっと勝てなくなるかもしれないと思いました。そしたら思った通りでAチームになったらあまり勝てなくなり一回戦で負けることも多くなりました。それでも最後にしらさぎで優勝できたのは、みんなの心のなかに絶対優勝したい！という気持ちがあったからだと思います。

僕は家で素振りや筋トレをするなど、野球がうまくなる努力は何もしませんでした。この金メダルはチームからのプレゼントだと思っています。ウエスタンズAチームのみんなありがとう。このチームでプレーできたことは僕の誇りです。監督・佐野コーチ・父コーチ・母たちのおかげでたのしい野球をすることができました。ありがとうございました。

5 安田 光介

僕がウエスタンズに入団したのは3年生の11月です。

最初は練習になかなかついていけませんでしたが。特に僕はランニングが苦手です。今でも嫌いです。4年生になって試合に出れるようになった時はすごく嬉しかったです。土日が来るのが楽しみでした。

そして合宿で一番辛かったのは100本ノックでした。左右に振られあと1歩なのに足が動かなくなりとても辛かったです。でもこの辛さがあったから今の僕があると思います。

そして何よりもAチームでのしらさぎ卒団大会で優勝できた事です。Aチームになってからなかなか勝つ事ができなくてきっと皆も悔しかったと思います。でも最後に皆で優勝する事ができました。

僕は良い仲間と野球ができたことは一生忘れる事ができない3年間でした。

監督、佐野コーチ、父コーチ母の皆さん本当にありがとうございました。

6 那須 雄斗

僕のウエスタンズの一番の思い出は、Aチームの最後の最後に「しらさぎ卒団野球大会」で優勝したことです。

今まで一回も優勝したことがなかったのですごく嬉しかったです。決勝でヒットを二本打ったのも思い出です。決勝より準決勝の方がすごく緊張してエラーもしてしまったけど優勝出来てすごく良かったです。

その他には、夏の合宿の最終日にやる恒例の100本ノックや野球肩になってしまったこと、Cチームの時の「しらさぎ」で三位になったことなども思い出です。

Aチームの合宿では、前日から足が痛く練習も半分くらいしか参加出来ませんでした。でも合宿2日目にイチロー杯の三回戦があって、それに勝てたのは嬉しかった。合宿最終日には、足が痛くてきつかったけど外野ノック50本、内野ノック130本を取り切ることができました。

そして9月の終わりごろ野球肩になってしまったけれど、頑張ってリハビリに通い、最後の大会に間に合って試合が出来て良かったです。

Cチームの「しらさぎ」の準決勝でサヨナラ負けして3位になってから、Aチームになってもなかなか勝てなく何度も悔しい思いをしましたが、最後に優勝出来て本当に本当に良かったです。

三年半、ウエスタンズのみんなと一緒に野球が出来て本当に良かったです！みんなありがとう！

7 市川 翔悟

僕は、3年の冬に名古屋ウエスタンズに入りました。Cチームの時は、正直ルールもわからずにやっていました。最初は、ゴロもフライも取れませんでした。バッターでも、三振ばかりでした。

Bチームになってやっとゴロもフライも取れるようになったし、ルールもわかって、バントも出来るようになったしヒットも打てるようになりました。でも、Bチームの後半、ひじがはくり骨折になってしまいました。

それから、Aチームになってやっと5メートル投げれるようになって、またすぐに塁間投げれるようになりました。すると試合にも出させてもらえるようになりました。はくり骨折がなおってから、練習や試合が、いつもより楽しくなりました。最後には、しらさぎ卒団少年野球大会で優勝しました。僕は、3年間野球をやってきて、野球の楽しさがわかりました。野球を続けられて良かったです。

8 芝田 佳奈

私がウエスタンズに入団したきっかけは、21期生のお兄ちゃんがウエスタンズに入っていたからです。最初はお兄ちゃん達の野球をみて応援しているだけだったけど、だんだん野球に興味をもってきたので私が4年生の時にウエスタンズに入団しました。

最初は「なんでみんなボールがとれるんだろ？」とか、「なんであんなに早いボールが打てるんだろ？」と思っていました。

わからないことも最初は沢山あったので、チームのみんなに話しかけてもみんな返事が返ってこなかったり、自分からも余り喋ることもできませんでした。なので、みんなにちゃんとついていけるように一生懸命練習し、少しずつ自分から喋りかけるようにしました。

試合も最初はルールがまったくわからず、試合にでることも出来ませんでした。試合に出ても守備ではエラーばかりで、バッティングではバットを投げ飛ばしたこともありました。なのでどちらかと言うと試合より、終日練習の方が好きでした。でも今では終日練習より、試合の方が好きになりました。試合ではまだまだエラーはするけれど、Aチームになってから背番号は「8番」になり、センターを守り、バッティングでは「9番」だったのが、「3番、5番、6番」を打つようになり、もうバットを投げ飛ばすことはなく、ヒットが沢山打てるようになりました。

そして、今年最後の大会（しらさぎ卒団大会）で念願の優勝をしました。決勝戦では今までに一番心に残った試合ができました。そして最後には、みんなの前で「最優秀選手賞（MVP）」のトロフィーを貰いました。貰った時はそこまでMVPの凄さがよくわからなかったけど、次の日の朝トロフィーを見て「優勝したんだ！」と実感し、飛び跳ねて喜びました。私はこの3年間、「もうやめようか・・・」と思ったことも沢山あったけど「一生懸命頑張ってきたかいがあったな」と思いました。

私がここまで頑張ってきたのは、お父さん、お母さん、チームのみんな、監督コーチのみなさんのおかげです。この3年間今まで本当にありがとうございました。他にもウエスタンズに関係をもって、私達のために動いてくれたみなさん、ありがとうございました。

9 左川 孝輝

僕は、四年生春にウエスタンズに入団しました。入団した時はみんなに追いつくのが必死で練習をしたけどみんなに追いつくまでに試合はありその時はランナーコーチで声を出すぐらいでした。Cチームの時にしらさぎ旗大会で三位になった時はすごいなと思いました。

Bチームでは、代打で少しずつ試合に出れました。ベスト16までは進む事はでき、その後は負け試合が多かったのは悔しい思い出になりました。

Aチームなって大きな大会にスタメンで出れるようになりました。前半では負け試合が多く進んでも三回戦までしか行けませんでしたが、イチロー杯にも出れてよかったです。後半では、しらさぎ卒団を順調に勝ち進んで、決勝戦でダイヤモンドスターズに勝ち優勝ができて嬉しかったです。ここまで僕が上手くなれたのも、監督、佐野コーチ、父コーチのお陰です。今までご指導有り難う御座いました。

11 澤田 廉平

僕のウエスタンズでの思い出は、しらさぎ卒団杯で優勝したことです。僕は、この決勝戦ですごく緊張しました。なぜなら、初めての事だからです。決勝戦の相手は、初めて戦うチームでしたが、みんなが集中して一球一球を大切に、相手と戦えたから勝てたと思いました。僕は試合には出られなかったけど、ランナーを一生懸命やり、自分なりにがんばる事ができました。

また、六年生の合宿での百本ノックもいい思い出になっています。五年生の時は、百本全部取れなかったので、今年取ってやるぞ！と思って挑みました。途中、辛くて止めようと思いましたが、監督やコーチにはげまされ、あきらめずに続けたら、百本取ることができました。とてもうれしかったです。

これから、中学でも野球を続け、レギュラーを取りたいです。

12 大澤 琉斗

僕がウエスタンズに入団したのは、みんなより遅い5年生の5月だったのですが、すぐに左ひじを骨折してしまいました。悔しくて残念でとてもあせりました。7月にやっと治って練習ができるようになりましたが、バントやスライディングなどの基本的なやり方も知らずに入ったので、全然みんなについていけなかったです。でも監督やコーチから ていねいに教えてもらい、少しずつ分かってきて、初めての試合に外野手でも出してもらえた時は とても緊張したけれど、ものすごく嬉しかったです。

夏合宿の100本ノックはとてもきつかったけど、ファーストの練習をさせてもらえるようになり、嬉しかったです。それから しばらくの間、僕はファーストで頭が一杯でした。打席ではAの初めての試合でヒットを打つことができ、次の試合もヒットを打てたのですが、それからは なかなか打てなくなったのが悔しいです。

しばらくチームがなかなか試合に勝つことができない時期が続いてとてもつらかったです。そんな時に初めて先発ピッチャーをやらせてもらいました。それから3試合くらいピッチャーをやらせてもらい、たった1勝しか出来ませんでした。その1勝が、最後の最後で優勝することが出来たしらさぎ卒団1試合目のとても大事な試合だったので 後からよかったなと思っています。僕はウエスタンズで約1年9ヶ月間 色々な経験をさせてもらい、よかったと思いました。

小川原監督、佐野コーチ、父コーチ、お母さん方 ありがとうございました。

これからも野球から学んだ経験を生かして頑張りたいと思います。

13 浅野 陽太

僕がウエスタンズに入団したのは、5年生の1月でした。みんなのように上手になれるか不安でした。入団した頃は、ノックが取れずに叱られてい

ましたが、毎週行くことで段々上手く取れるようになり、楽しくなってきました。また、5月の頃から少しずつ試合に出られるようになりましたが、いつもすごく緊張していました。

6月に入ってから、僕もピッチャーをやるようになりました。最初の頃は、ストライクがあまり入らなくて、練習が終わった後に父と小学校で投球練習をして段々入るようになり、自信もつきました。10月には4勝できましたが、右ひじを痛めて1ヶ月以上投げられなくなりました。また、その間に右ひざがオスグットにもなってしまい、12月いっぱい練習に参加できずにすごく残念でした。

今年の1月からやっとひじもひざも治って練習に参加できるようになり、とてもうれしかったです。でも、ひさしぶりのピッチャーでは全くストライクが入らず、交代されてしまい、くやしかったです。また、投球練習などをたくさんしないといけないと思いました。

そして一番うれしかったのが「しらさぎ卒団」で優勝したことです。たったの1年間でしたが、夏の合宿、しらさぎ卒団の優勝など本当にたくさんの思い出ができました。このウエスタンズで教わったことを忘れずに中学でも野球を続けていき、頑張りたいです。

小川原監督、佐野コーチ、コーチの皆さん、そしてお父さん、お母さん、本当にありがとうございました。



1・2月の成績

Aチーム

○H23. 1. 10 (月)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
トラッド長久手	0	0	0	4	0			4
ウエスタンズ	1	3	2	1	X			7

○H23. 1. 15 (土)

山本杯 4試合目

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
名古屋北トップドリームス	3	0	0	1	1			5
ウエスタンズ	0	0	0	0	1			1

○H23. 1. 22 (土)

山本杯 5試合目

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタンズ	0	0	0	0	0	0		0
守山ボーイズ	1	2	2	3	2	0		10

○H23. 1. 22 (土)

しらさぎ卒団 3回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
プリンスジュニア港	0	1	0	0	0	0		1
ウエスタンズ	1	0	0	0	0	1		2

○H23. 1. 23 (日)

山本杯 6試合目

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタンズ	1	0	0	2	0	0	0	3
篠原ジュニア	0	0	0	0	0	0	0	0

○H23. 1. 30 (日)

しらさぎ卒団 準々決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
西枇杷ヶ原スポーツクラブ	0	1	0	0	0			1
ウエスタンズ	1	0	3	0	0			2

○H23. 2. 5 (土)

山本杯 7試合目

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
志賀エンゼルス	0	1	0	0	1	0		2
ウエスタンズ	3	0	0	0	0	3		6

○H23. 1. 30 (日)

しらさぎ卒団 準決勝 10:30~

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
日進少年野球	0	0	0	0	0	0		0
ウエスタンズ	1	0	0	0	1	X		2

○H23. 1. 30 (日) 13:30~
第5回ムラテ旗しらさぎ卒団少年野球大会
決勝戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ダイヤモンドスターズ	1	0	0	1	1	3		6
ウエスタンズ	1	6	2	0	0	X		9

優勝！おめでとう！！

○H23. 2. 13 (日)
山本杯 8試合目 (Aチーム最終戦)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
名古屋サウスブロンクス	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスタンズ	0	0	2	0	1	1	0	4

Cチーム 2/13日分まで

○H23. 1. 23 (日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
名古屋ウエスタンズ	0	0	0	0	0	1	1

○H23. 2. 5 (土)

練習試合 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
旭丘スカイシャークス	0	0	2	0	0	0	2
名古屋ウエスタンズ	3	1	4	2	1	X	11

○H23. 2. 5 (土)

練習試合 2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
旭丘スカイシャークス	0	2	4	1	1		8
名古屋ウエスタンズ	1	3	0	1	1	0	6

○H23. 2. 6 (日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
佐屋ネファン	0	0	0	0	0	3	1	4
名古屋ウエスタンズ	0	0	0	0	1	0	3	4

○H23. 2. 13 (日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	計
名古屋ウエスタンズ	2	1	1	0	1		5
小正レインボーズ	0	0	1	1	1		3

試合結果のまとめ

Aチーム試合結果

- 練習試合 1勝
- 山本杯 3勝2敗
- しらさぎ卒団 **優勝**

Cチーム試合結果 2/13日分まで

- 練習試合 2勝2敗1引き分け

チョット一言コーナー

那須コーチへ

長い間月刊ウエスタンズ編集に携わって頂き有難うございました。那須コーチが編集者になった頃、那須コーチが試合に来れない時に那須母がスコアブック代わりに文字で試合の流れを一生懸命付けているのを拝見した事が有ります。家族でウエスタンズにどっぷり漬かっているな～と思っていたらいつの間にかうちの家族もどっぷり漬かっていました。チームにその様な魅力が有るのでしょね。

私が編集を始めた頃、那須コーチにスコアブックの付け方などを教えて頂き大変お世話になりました。今後はホームページを見て応援をお願いします。また時間が有る時はグラウンドに来て得意の片手ノックで選手を指導して頂ければと思っています。本当に長い間有難うございました。

奥西

お知らせ

*次回は新年度号 平成23年4月配布になります
よろしくお願ひします。

編集事務局 奥西
編集者：那須、奥西